

国際ロータリー第 2550 地区 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ゴードンR. マッキナリー
 第 2550 地区ガバナー：三井福次郎
 事務所：〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
 ベルヴィ宇都宮内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 Email：m2550@agate.plala.or.jp



世界に希望を生み出そう

会長：稲垣政一 幹事：井出法
 事務局：那須エステート(株)
 代表取締役 井出法
 〒325-0061 那須塩原市末広町53
 TEL:0287-64-0001・FAX:0287-64-1388
 E-mail:osamu.ide@nasuestate.jp
 例会：国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第3013回 稲垣年度第13回例会会報 2023-11-8 司会 荒牧明二会員

🌟 会長挨拶 稲垣政一会長



本日は、日本自動車連盟(JAF)が2023年に行った重要な調査結果をお伝えします。信号機のない横断歩道で、車が一時停止し歩行者を優先する割合に関するものです。

栃木県の成果に注目してください。なんと、全国で3位という顕著な成績を達成しました。一時停止率は74.8%に上昇し、栃木県は過去最高の結果を記録しました。

これは、わずか数年前、2018年に全国最下位の0.9%だったという事実を考えると、驚異的な進歩です。以降、県警は官民一体となって「止まってくれない栃木県からの脱却キャンペーン」を展開し、この素晴らしい改善を遂げました。

全国平均が45.1%となる中、栃木県は首位の長野県、2位の石川県に続いて素晴らしい順位を確保しています。

皆さん、この成果は、栃木県民と県警の努力の賜物です。一人ひとりが交通ルールを守り、改善に努めた結果、安全で親切な道路環境を築くことができました。これからも、引き続き歩行者にやさしい運転に努めましょう。

さて、今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団は世界各地のロータリークラブの社

会貢献プロジェクトを支援する非営利団体で、教育、健康、水と衛生の改善など多岐にわたる分野のプロジェクトに資金援助を行っています。さらに、国際的な平和推進のためのプログラムも提供しており、クラブメンバーが共同で資金を集め、社会への貢献活動を進めています。

詳細については、地区ロータリー財団委員長の森本敬三様から後ほどお話しいただく予定ですが、私からは黒磯ロータリークラブが過去にロータリー財団の補助金を用いて行った支援活動についてお話しします。

- 稲垣年度 那須町社会福祉協議会への幼児・児童用防災頭巾を申請中です。
- 植竹年度 黒磯中学校への図書館用椅子や書棚等の寄贈を行いました。
- 荒牧年度 「小学校テント寄贈」プロジェクトを実施しました。
- 大島年度 「1年生安心安全まもり札」と題して、渡辺美知太郎市長へ防犯ブザー550個を贈呈いたしました。
- 吉光寺年度 社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会と連携し、小学校低学年視力増進・小学校の英語学習推進のプロジェクトを実施しました。
- 村山年度 社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会と連携し、こっこ食堂支援事業を実施しました。
- 高木年度 社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会と連携し、青木ホースガーデンにヘルメット寄贈を実施しました。
- 村山年度 社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会と連携し、関東地区ジュニアテニス大会、ミルフィカップ寄贈を実施しました。さらに、他クラブのグローバル補

出席報告 鳥居輝一委員長 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 11月8日	35 (8)	25 (3)	10 (5)	83.3%	—	—
前回 10月18日	35 (8)	24 (1)	11 (7)	85.7%	4	100%

欠席の場合は前々日 正午 までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

和気年度

助金申請と協力、那須塩原市の
退役消防車をタイへ寄贈しました。
社会奉仕委員会、国際奉仕委員
会、青少年奉仕委員会と連携し、
那須塩原市小学校対抗駅伝徒
競走大会を実施しました。

これらの活動は先代のリーダーたちの奉仕精
神と努力の賜物です。私たち黒磯ロータリークラ
ブの現メンバーとしては、その伝統を継承し、社
会貢献活動をさらに拡充していく責任があります。
来年度も、社会奉仕、青少年支援、国際協力の
三本柱を基盤に、地域社会への貢献を続けてま
いります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上
げます。

皆様にとっては当然承知のお話でしたが、
お聞きいただき有難うございました。

🌀 幹事報告 井出法幹事



安藤譲治会員



石山桂子会員



高木茂会員

鈴木隆子会員 黒澤洋一会員

荒牧明二会員

鈴木久雄会員

● お知らせ

- ・11月ロータリーレート1\$=149円となっております。
- ・11/12(日)地区大会が佐野市で開催されま
す。当日は朝7時にバスで石山出発を予定、
現在、黒磯RCからは会員8名と黒磯高IAC4
名計12名が参加予定となっておりますが、他参
加を希望される方は井出までご連絡をお願
い申し上げます。
- ・ロータリー財団より、年次基金支援に対して
のお礼のメールが届いております。

● ガバナー事務所からの連絡

- ・「2023年11月ロータリー財団月間」リソースご
案内がきております。
- ・イスラエル、パレスチナ問題についての「ロー
タリー声明」がきております。(ロータリー財団
森本委員長様よりガバナー事務所経由)
- ・「ガバナー月信VOL5」のご案内がきておりま
す。

○ 結婚祝い

植竹一裕会員、檜山達郎会員、
(永山三芳会員、戸野俊介会員)



🌀 委員会報告 安藤譲治

副会長兼クラブ奉仕委員長

🌀 親睦委員会 石山桂子委員

○ 誕生祝い

荒牧明二会員、鈴木隆子会員、高木茂
会員、黒澤洋一会員、鈴木久雄会員
(吉光寺政雄会員)

本日の卓話 ロータリー財団委員会
高木茂委員長



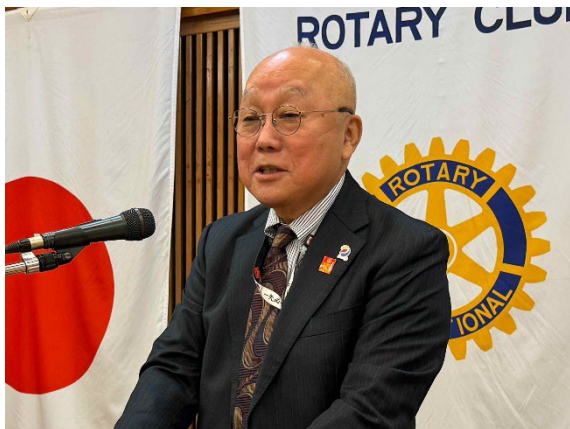
ロータリー財団委員会は、高木茂委員長、村山茂副委員長、藤崎善隆委員の3名で本年は運営しております。

11月はロータリー財団月間でありますので、ロータリー財団地区委員長でありパストガバナーであります森本敬三様をお招きしての卓話を企画いたしました。10月21日にはポリオ根絶運動のPRの一環といたしまして、君島ガバナー補佐を先頭に第一グループの会員と黒磯高校のインターアクトクラブのメンバーが那須塩原駅前パンフレットを配布しPRをしました。

当クラブの財団委員会の活動は、2022-2023年度は前年の村山委員長からの引継ぎで、那須町公立保育園4園が行う防災に関する乳幼児用防災ずきん備蓄計画を支援するため、過日那須町子ども未来課を通して防災ずきんを贈呈いたしました。2023-2024年度も財団地区補助金を活用して次なる支援を行いたいと思います。

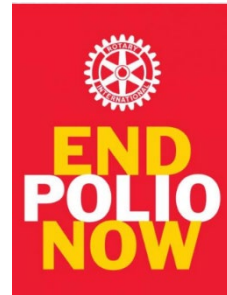
それでは、森本地区委員長に、世界理解、親善、平和と、当地区の最近の現況をお話いただければと思います。よろしくお話をいたします。

外来卓話 第2550地区ロータリー財団委員長
森本敬三様



- 「ロータリー財団の歴史」
- 「ロータリー財団の使命」
- 「ロータリーの中核的価値観」
- 「ロータリー財団のビジョン声明」

- 「4つの優先事項」
- 「多様性(D)、公平さ(E)、インクルージョン(I)」
- 「クラブ奉仕活動への支援」
- 「ロータリー財団2023-24年度目標」
 - ・ポリオ根絶運動
 - ・ポリオ・プラス・ソサエティ
 - ・ポリオ根絶に1人30ドルの支援のお願い
 - ・年次基金にお1人150ドルのご支援をお願い
 - ・ロータリーカード(個人、クラブ)の普及促進
 - ・ポール・ハリス・ソサエティ会員の加入促進



(以上、詳細は巻末資料をご参照ください)

稲垣会長からお土産の贈呈



ニコニコボックス 田中徹委員長



森本敬三様 お世話になります。
稲垣政一会員 森本敬三様、ようこそ黒磯クラブへ。
鈴木久雄会員 今日立冬だそうです。
黒澤洋一会員 誕生祝いありがとうございます。
檜山達郎会員 結婚祝いありがとうございます。



出席報告 鳥居輝一委員長



荒牧明二会員

参考資料

The Rotary Foundation **ロータリー財団の歴史**

「世界でよいこと」をしてきた106年
1917年、当時の会長アーチ・クラフが「世界でよいことを」ための基金をつくるというビジョンをアトランタ大会で発表。この発表を受けカンザスシティロータリークラブから25万ドルの寄付を受けスタートしました。
その1年後の1922年に名称をロータリー財団としました。その後、ポール・ハリスは後にその基金を顕彰するために、1957年ポール・ハリス・ファンドの設置プログラムが創設されました。
現在では世界有数の財団へと成長し、年間3億3千万ドル以上(2021-22)の資金をロータリークラブ、地区が行う人道支援等の奉仕活動に使用されています。
財団がこれからも「世界でよいことをしよう」を掲し進んでいくために皆様のご支援が必要なのです。

ロータリー財団の使命 (財団憲章第10条、2007年8月決定)
ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるような支援することです。

ロータリーの中核的価値観(2007年8月)
「親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ」
私たちは、親睦を通じて生涯にわたる友情を育み、国や文化を超えた理解を促します。私たちは、高潔性をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。
多様性を尊ぶロータリーは、様々な文化を尊重し、多角的なアプローチで課題に取組みます。私たちは、奉仕を通じてリーダーシップと職業のスキルを活かし、地域社会の発展に取組みます。

ロータリー財団のビジョン(財団憲章第10.000、2017年8月決定)
私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の人生で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を創出しています。

4つの優先事項
より大きなインパクトをもたらす
参加者の基礎を広げる
参加者の積極的な関わりを促す
満足度を高める

多様性(D)、公平さ(E)、インクルージョン(I)

私たちは、ロータリーのあらゆる活動において、「多様性(公平さ・インクルージョン) (DEI)」を愛護し、行動で示すべきであると信じています。

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルージョン(包摂的)な文化を築くことが不可欠であると信じています。

私たちは多様性を重んじ、すべての年齢、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、職業、社会的経済的立場、文化、婚歴状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー-自己認識だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループのみにが限られてきたという事実を認識し、すべての人が促進のためのリソース、機会、ネットワーク、支援人の必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面を公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本能的に独自の価値観を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、健康意識を持ってもらうようなインクルージョン文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)にいたる旅路において規範として自分たちがどこにいるかを正確かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

クラブ奉仕活動への支援(年次基金CMOU(新案)提出が必要です)

地区補助金 地区補助金の原資はロータリアン、クラブが3年前に寄付をした年次基金から寄付金額の約25%(経費として2.5%返却されます)が還元され、地区補助金を申請したクラブに配分します。配分の基準は、3年前の年次基金1人当たりの金額をベースとしています。

クラブ補助金 足2倍(※)を超過し、持続可能な予測可能な成果をもたらす3万ドル以上の国際的な資金を支援します。地区財団補助金(DDF)から最大1万ドルまで引き、その残額をDOFにWから約8%を上乗せされます。当地区では申請は年度内1クラブ件です。
7つの重点分野 ①平和構築と紛争予防 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥社会の経済発展 ⑦環境保全

ロータリー財団 2023-24年度目標

ポリオ根絶運動

2021年の秋、WHOよりコロナウイルスが飛び込んでまいりました。国際ロータリーが1985年以来、取組んでまいりましたポリオ根絶の成果がアジアエリアで達成されました。これで、アフリカ大陸はポリオフリーとなりました。

34年の長い道のりを取り組んできたロータリアンの支援の賜物と思えます。

残すは、あと2カ国(アフガニスタン6人、パキスタン)(2023.10)です。

ポリオウイルス

3種類(H1E、H1G、H1N)のウイルスに分けられます。H1Eは既に根絶感染者の90%-95%は不顕性になり、3%-8%は軽微な症状で終わる。残り0.1%-2%の感染者に顕性な症状が出る。感染してから6-20日の潜伏期間を経て、約10日後より症状が出現します。

ポリオウイルスは、熱、赤痢、嘔吐、発熱、海外旅行により速やかに不活化される。感染後に200万-300万人に人の割合で生ワチによる発症がある。

①1955年、国際40周年に合わせてポリオ・プラスプログラムを開始

当初プラスとは、ほしか、ソフチア、百日咳、結核、破傷風でした。

現在では、ワクチン接種のインフラ、並びにサーベランス、ファンレイジング等を指しています。

②1988年、国際ロータリー、WHO、ユニセフ、CDC(米国疾病センター)により、GPEI(ポリオ撲滅推進計画)が設立。現在ではコアパートナーとして、ビル・アッド・メンディング・グループ財団、GAVI(グローバルワクチンアライアンス)が関わつておられます。

③2007年の規定委員会でのポリオ撲滅を国際ロータリーの最優先の目標にすることを承認され、野生株ポリオウイルスの撲滅の証明がなされるまで、国際ロータリーは他のプロジェクトを採択しないと決めています。

④2026年、終局宣言(目標)

ポリオ・プラス・ソサエティ

ポリオ・プラス・ソサエティ The PolioPlus Society (PPS)

プログラムは、すでに多くの国々のロータリー会員が参加して

おり、毎年100ドルをロータリー財団の「ポリオ・プラス」への寄付

をお約束いただけるロータリー会員に登録していただくものです。

ポリオ根絶にお1人30ドルの支援のお願いです。

根絶は、100万ドルの寄付が必要とすると、100万ドルが上乗せされ、150ドルになれば、100万ドルの100万倍(100万倍)が寄付より上乗せされ450ドルになります。国際ロータリーは2023-24年度5,000万ドルを目標としています。この金額にビル・アッド・メンディング・グループ財団より2倍の上乗せがあります。

年次基金にお1人150ドルのご支援をお願い致します。

この基金は、3年間運用され3年後に先本が地区活動資金とWFFにシフトされられます。この資金は地区活動資金(DF)の1/2を地区補助金になります。

地区補助金の支給に際しましては、申請年度の3年前の年次寄付1人当たりの金額をベースとして配分しています。(1人当たり100ドルを基準としています)

グローバル補助金には、クラブからの申請金額によりますが、DOFより最大10,000ドルが拠出され、WFFからその80%が上乗せされます。昨年度(2022-23)当地区での年次基金への寄付額は、お1人当たり平均150.30ドルでした。ありがとうございました。3年後が楽しみです。

ロータリーカード(個人、クラブ)の普及促進

既に多くの会員の管理はカードをお持ちの事と思いますが、地区内ロータリアン1,678名の内、ロータリーカードをお持ちの方は僅か1.9%(2023年3月調査)しかいません。是非ロータリーカードをお持ちください。この個人カードで使った金額の0.3%がカード会社の費用でポリオ根絶に寄付されます。



ポール・ハリス・ソサエティ会員の加入促進

毎年1,000ドルを年次基金や7つの重点分野に寄付していただける会員になります。

例えば、ロータリーカードから毎月15,000円を寄付していただけますと為替状況により年額18万円になりポール・ハリス・ソサエティ会員となります。(2022-23年度の地区内ポール・ハリス・ソサエティ会員は1,635名中23名でした)

国際ロータリー第2550地区(栃木県)ガバナー月信11月号より、「ロータリー財団月間」記事の抜粋。



佐野郷工会議所主催 第12回写真コンテスト 副賞「秋の記憶」久松 茂氏

01 02 03 04 05 06
 07 08 09 10
 R.I.D 2550 tochigi
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
 Contents
 My ROTARY Rotary International
vol.5
2023.11

03 米山月間寄稿

月間に因んで・財団紹介

2023-24年度 委員長 森本 敬三 (大田原中央会)



皆様よりロータリー財団へのご理解とご協力、そしてご支援を賜り誠にありがとうございます。さて、11月は財団月間です。

ロータリークラブが誕生して12年後の1917年アトランタ大会でアーサー・クランフォードは、「世界でよいことをするための基金を創りましょう」と呼びかけて財団の創設がロータリー財団の始まりです。それから100年経ちました。財団はロータリーの発展と共に世界中で支援の輪を広げてまいりました。国際ロータリーのロータリー財団はその使命を「ロータリアンが人々の生活状態を改善し、貧しい者や病弱者を救済し、国際安全に取り組み、貧困を無くす事を通じて、世界理解、親善、平和を促進できるよう支援する事です」と掲げています。

この趣向です。ロータリー財団はクラブ及び地区を通じて実施された各プログラムをロータリアンの皆様と共に実施し、支援の輪を広げ拡大しています。

今年度、地区財団金の申請は種別も含めて25倍、グローバル財団では10月現在で寄付金総額が前年度を大きく上回っています。また、ボリスデーに因んでガバナー補佐の増設を中心にグループ層にボリスデー財団活動のキャンペーンを盛り上げていただいている様です。その功による地域社会や国際的な社会活動など及びのロータリー財団の発展への期待が膨らんでいます。これらも御支援を賜りましたことにお礼申し上げます。是非とも御協力をお願いします。例年ロータリー財団の活動に対してご理解とご支援いただきます様、宜しくお願い申し上げます。

[2023-24年度目標]

- 年次基金 約1,150ドル (目標は世界全体で1億5千万ドル/年)
- ボリス・フラス寄付 約1,300ドル (目標は世界全体で5千万ドル/年)
- (ビル・スリミング・ウィット財団より2倍の上乗せあり)
- ボリス・フラスリサエティ新規募集 (毎年100ドルの誓約)
- ロータリーカードの普及 (e-メール・ハリス・ソサエティへの登録促進)
- 恒久基金 (ボリスフラスデー1,000ドルの新年度法(10%増))
- 年次基金寄付は必ずクラブの社名を記載！
- ボリスデーへの継続促進 (毎年10月24日、フラスデー(青年会)クラブの誕生日)
- ロータリー平和フェロシオシップの支援推進



11月8日欠席者 (敬称略)
 荒井昌一 泉道夫 瀬尾紀夫 片田航介
 吉光寺政雄 戸野俊介 北島大輔 大島三千三
 永山三芳 高木慶一

前回10月25日分メイクアップ(敬称略)
 金澤弘子 渡辺裕雄 吉光寺政雄 戸野俊介

次回例会 令和5年11月15日 担当 地区委員

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
 ○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105
 ○金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：瀧田雅仁・吉光寺政雄・秋間忍・永山三芳